

私の20世紀 (1989)

MY 20TH CENTURY

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ハンガリー／西ドイツ
色彩 Color
時間 102分
初公開日 1990/01/20
公開情報 シネマテン
映倫 R15+
リバイバル 2019/03/30 [サンリス] (4Kリストア版)

【キャッチコピー】

不思議な光みつけた。

【解説】

“O・ウェルズの光、チャップリンの精神、「E.T.」から受けた新しい可能性”を映画にしたかったという女流監督のイルディコー・エニエディがカンヌの最優秀新人監督賞を受けた、20世紀に捧げる詩的オマージュ。1880年、ニュージャージー、メンロ・パークの夜にエジソンの電球の眩しい灯が点った頃、ハンガリーのブダペストでは双子の姉妹リリとドラが生まれる。やがて二人は孤児となり、別々の養い親の元で育ち、全く違う人生を歩む。20世紀を迎える夜、同じ駅のホームの上りと下りに分かれて、二人は列車にのっていた。リリはオリエント急行で男達を惑わす女詐欺師、ドラは三等車で緊張に震える女テロリスト。別々の方向へと走り出したそれぞれの列車だが……。二人を双子と知らず同じ人格と思って愛す、ソ連の名優ヤンコフスキー扮するZという謎めいた人物がかすがいとなって、不思議な口々に導かれ三人で会するシークエンスからの幻想的な映像の奔流がすごい。鏡の部屋、星の瞬き、川面を低く高速で飛ばすT・マテの鮮やかな白黒撮影が瞬間的に綴る20世紀の流れ……。ドラとリリ、そして、その母親の三役のD・セグダの微かな笑みが印象的。

【クレジット】

監督 イルディコー・エニエディ Ildiko Enyedi
脚本 イルディコー・エニエディ Ildiko Enyedi
撮影 ティボオール・マーテー
音楽 ラースロー・ヴィドツキー
出演 ドロタ・セグダ Dorotha Segda
オレグ・ヤンコフスキー Oleg Yankovsky
パウルス・マンカー
ペーテル・アンドライ